

令和7年度
臨時号②

アンケートへのご協力、ありがとうございました

令和8年3月

A=できている

B=どちらかといえばできている

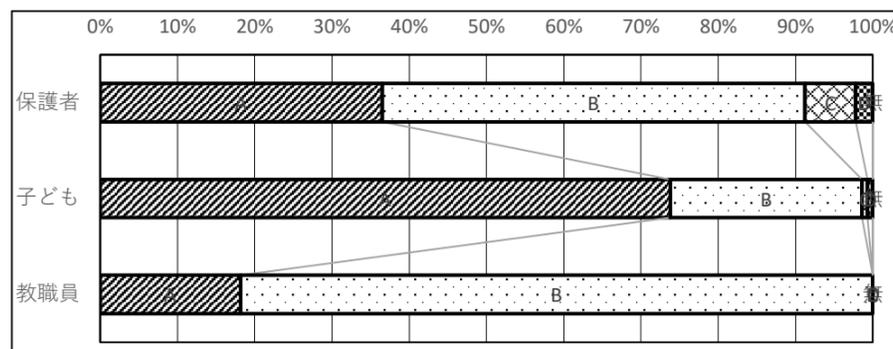
C=どちらかといえばできていない

D=できていない

無=無答

少しずつ暖かくなり春らしさを感じられる頃となりました。子どもたちの学校生活を生き生きと楽しいものにするため、また今後の学校改善に役立てるためにアンケートを実施しましたので、結果をご報告いたします。また、保護者の皆様からいただいたご意見を謙虚に受け止め、学校運営に活かしてまいります。

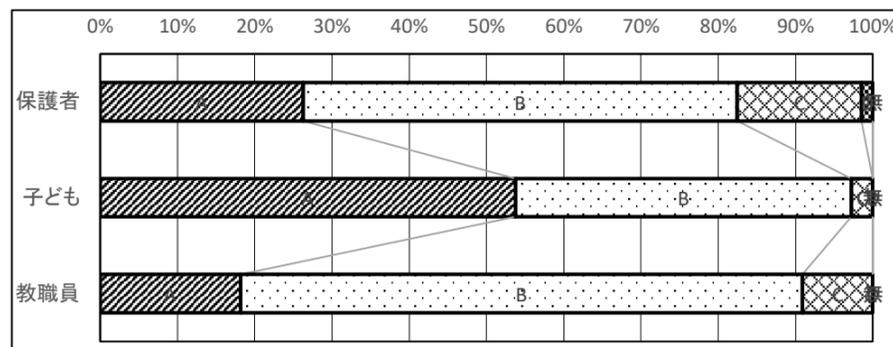
① 子どもは学習内容がわかり力をつけている。
(保護者)
毎日の授業はよく分かる。
(児童)
教材研究・教材作成に努め、一人一人に分かる授業を工夫している。
(教職員)



前期と比べて、児童の評価がわずかに下がっています。後期になって学習が進み、学習内容の難易度が上がったと感じている児童がいると考えられます。

来年度も、教員の校内研修や教材研究を進め、「わかる授業」を軸に、パワーアップタイムなどの帯時間での反復練習や、家庭での自学自習の習慣化により、「確かな学力」の定着をめざしていきたいと思えます。

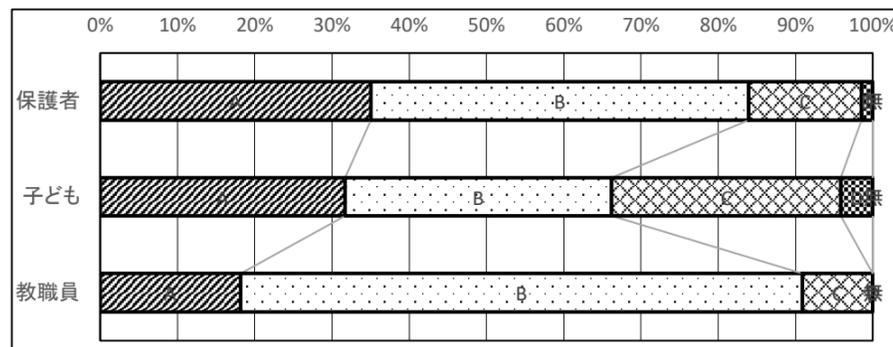
② 子どもは人の話をしっかりと聞いている。
(保護者)
授業中、人の話をしっかりと聞いている。
(児童)
子どもたちはしっかりと話を聞き、意欲的に学習に取り組んでいる。
(教職員)



前期と比べて、保護者の評価がわずかに下がっています。

相手の顔を見て共感しながら話を聞くことは、コミュニケーションにおいて大切な要素であり、人権意識にもつながります。また、「聞く力」は学習においても基礎となる力です。子ども同士だけでなく、大人も子どもの話をじっくり聞くことで、児童が話を聞いてもらえる良さを感じられるようにと思えます。

③ 子どもは思った事や考えた事を発表している。
人に話している。
(保護者)
自分の思った事や考えた事を発表している。
(児童)
子どもたちは相手に伝わるように、自分の考えや思いを発表できている。
(教職員)



前期と比べて、保護者と教職員の評価は上がりましたが、児童の評価が下がっており、約34%の児童が「あまりできていない」「できていない」と回答しています。

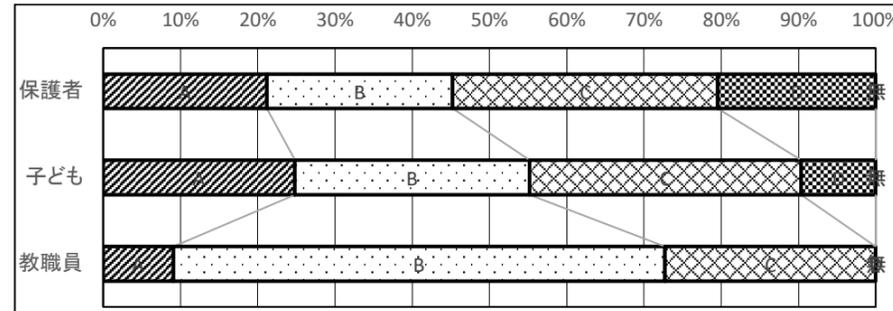
本校では授業の中で、子どもたちが自分の考えを互いに交流する場面を意図的に作っています。その中で、ペアや小グループでは自分の考えを話すことができるけれども、全体の場になると、自信がなかったり緊張したりして、発表を躊躇する児童がいます。

自分が受け入れられていると感じ、安心して話せる学級の雰囲気づくりに努めたいと思えます。

④ 子どもは家で本を読む習慣がある。 (保護者)

家でも読書している。 (児童)

朝読書や本かばんの活用、毎月のノーテレビ・ノーゲーム・読書デーの取り組みで子どもたちは進んで本を読むようになっている。 (教職員)

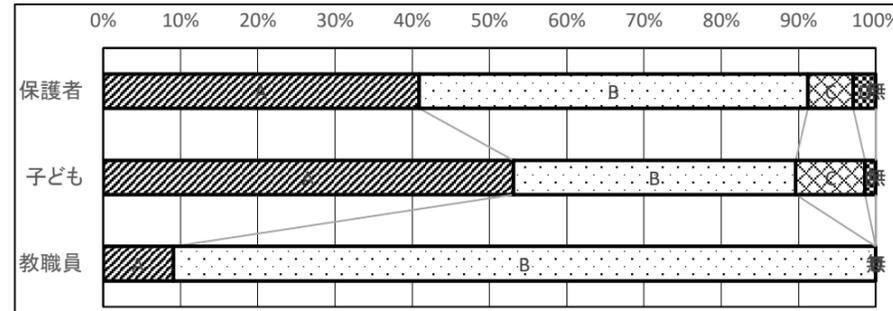


前期と比べて、全体的にこの評価が下がっています。保護者では55%が「どちらかといえばできていない」「できていない」と回答しています。学校では、選書会やお話玉手箱、ノーテレビ・ノーゲーム・読書デーなど、児童が本に親しむための取組を行っています。子どもたちは、本の読み聞かせが好きで、いつも目を輝かせて聞いています。その反面、自分で本を読むことは、あまり好きではないようです。思考力、想像力、発想力を培うためにも、読書の時間を増やしたいものです。

⑤ 子どもは宿題や復習など家庭学習をしている。 (保護者)

家や宿題やおうちで決めた学習をしっかりとしている。 (児童)

家で宿題や復習などができている。 (教職員)

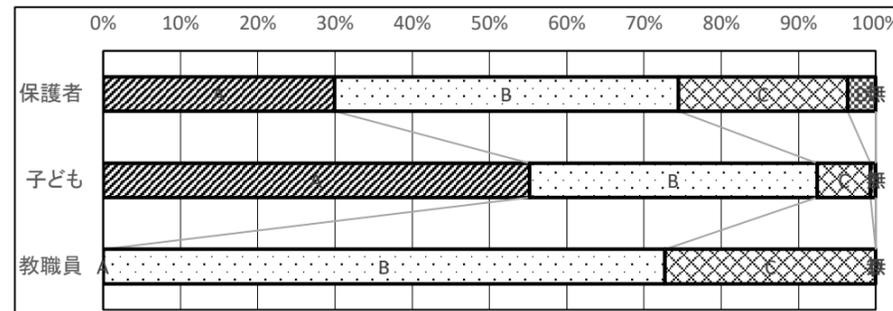


前期と比べて、保護者と教職員で「いつもできている」の割合が下がっています。また、保護者と児童の約10%が「あまりできていない」「できていない」と評価しています。家庭学習は、学力の定着を図るうえで、とても大切な役割を果たしています。授業で取り組む問題数は限られており、ご家庭で復習することで学習内容が定着します。引き続きご家庭でのご協力をお願いします。

⑥ 子どもは次の日の学習の準備ができている。 (保護者)

次の日の準備をきちんとできている。 (児童)

子どもたちは忘れものをせず、学習の用意ができている。 (教職員)

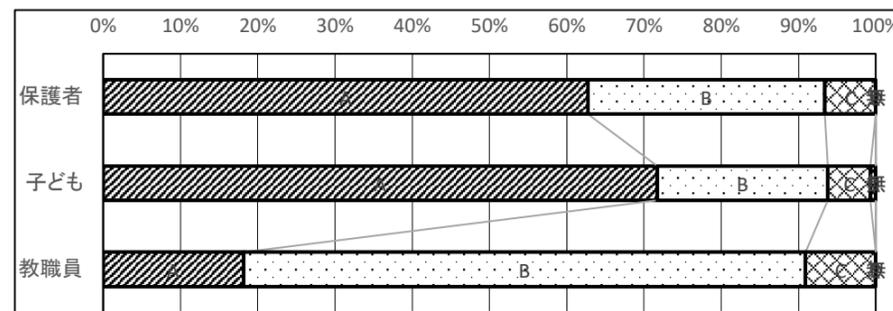


前期と比べて、全体的に評価が上がっています。その一方で、保護者と教職員において、依然として約25%が「あまりできていない」「できていない」と評価しています。忘れ物があると、学習に支障をきたします。自分で予定表を見て、学習の準備を前日にする習慣を身に付けさせていきたいです。また、ノートをはじめとする学用品がなくなっている時には早めに補充をしていただきますよう、よろしくお願い致します。

⑦ 子どもは毎日楽しく登校している。 (保護者)

毎日の学校生活が楽しい (児童)

子どもたちは、学校や学級を楽しんでいる。 (教職員)

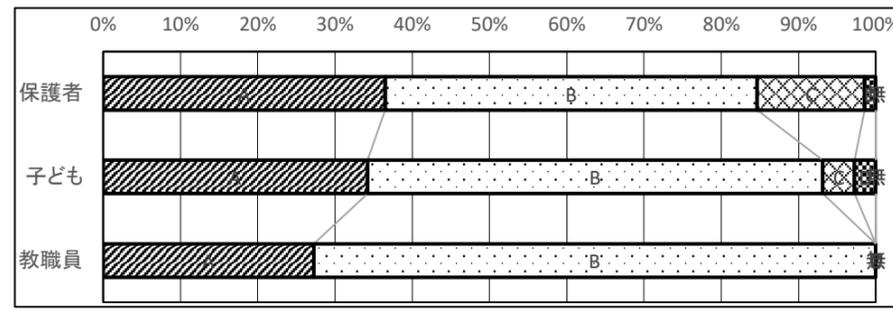


前期と比べて、児童の評価がわずかに下がっており、約6%の児童が「あまり楽しくない」「楽しくない」と回答をしています。学びの喜びや行事の達成感、多くの友達とのかかわりなど、学校生活は子ども達にとって基本的には楽しいものです。これからも全教職員が一人一人の子ども様子に気を配り、寄り添い、困りを解決する取組を続けていきます。

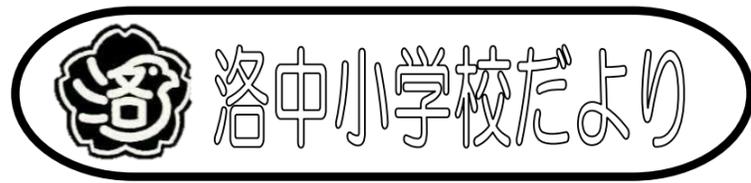
⑧ 子どもは約束や決まり事を守っている。 (保護者)

学校や学級のきまりや約束を守っている。 (児童)

子どもたちは約束や決まり事を守っている。 (教職員)



前期と比べて、教職員の評価が上がりました。一方で、前期に引き続き、約15%の保護者が「あまり守れていない」「守れていない」と回答しています。学校では、廊下を走ったり、遊びのルールを守れなかったりする子どもを見かけることがあります。子どもたちの安全を守るためにも、統一した指導を行うとともに、全教職員で子ども達を見守っていききたいと思います。

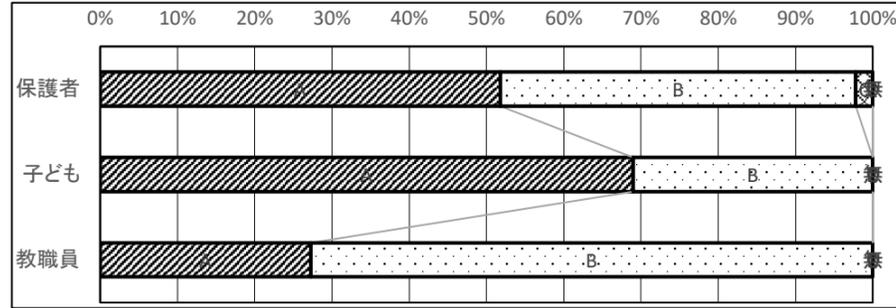


令和7年度 臨時号②



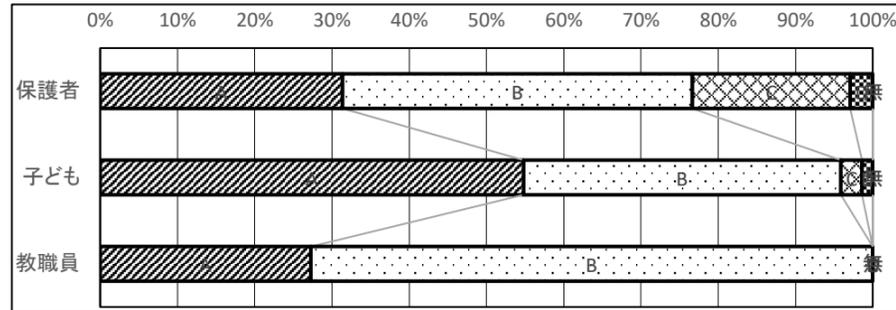
アンケートには、保護者の方々からコメントもいただいております。ありがとうございました。ご意見をお聞かせいただくと、私たちが日常の指導・支援・取組について反省・改善していく契機となります。今後とも、忌憚のないご意見をお聞かせいただけたらと思います。それぞれの内容については、学校の教職員全体に周知して、今後の学校・学級活動の改善に生かしていきます。個別にお応えできる内容については、個別にご連絡いたします。そのためにも、記名でのアンケートに今後とも協力下さい。よろしくお願いいたします。

⑨
子どもは友達に優しくできている。(保護者)
やさしい気持ちをもって友達を大切にしている。(児童)
いじめや仲間はずれのない学級づくりを重点にした取り組みができている。(教職員)



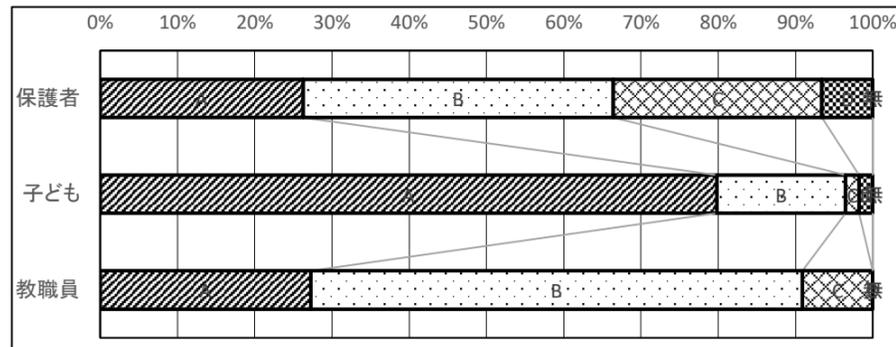
前期と比べると、全体的に評価が上がっており、友達と仲良く過ごせている様子が分かります。
本校では人権目標を毎月設定し、人権朝会で紹介しています。目標を意識して学校生活を送る中で、感じたことや気づいたことについての振り返りも行っています。この取組を通して、自分も友達も大切な存在であることに気づき、よりよい関係を築くことができるようになってきているのではないかと思います。

⑩
子どもは自分からあいさつができている。(保護者)
友達、先生、ちいきの方に自分からあいさつできている。(児童)
子どもたちは、元気にあいさつができるようになっている。(教職員)



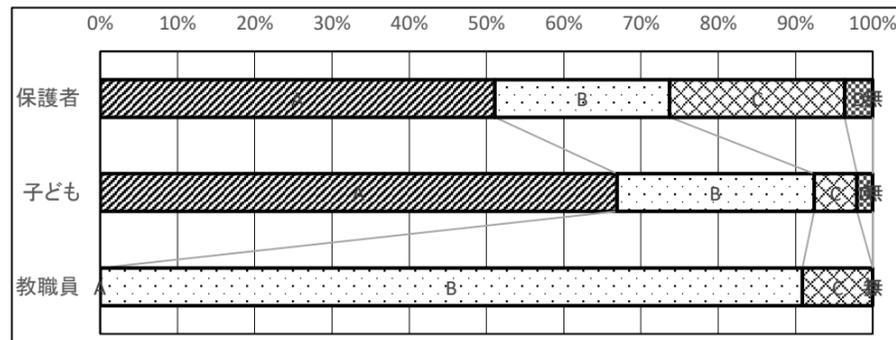
前期と比べると、全体的に評価が上がっています。特に児童と教職員の評価が高くなっています。
しかし、自分から進んで挨拶をする児童はまだ少ないように感じます。元気な挨拶はコミュニケーションの基本です。周りの大人から進んで手本を示していきたいと思えます。ご家庭でも、意識してあいさつの習慣をつけていただけるとありがたいです。

⑪
子どもはお手伝いや自分の仕事をきちんとできている。(保護者)
そうじ、日直などの当番活動や係活動がきちんとできている。(児童)
子どもたちは当番活動や当番活動や係活動をきちんとしている。(特にそうじ)(教職員)



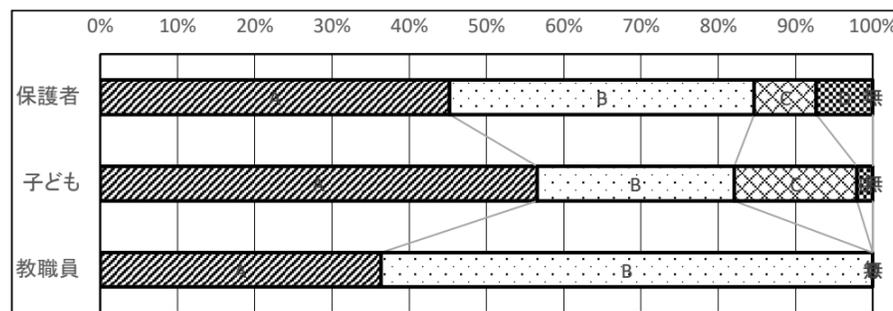
前期と比べると、保護者の評価が下がり、「あまりできていない」が増えています。学校では当番や係活動を頑張っている一方で、家庭では、お手伝いや自分の仕事を進んで行えていないようです。
お手伝いは、役割を与えられ、感謝されることによる自己肯定感の向上、自立心・責任感の育成、試行錯誤による問題解決能力の獲得にもつながります。頑張ったことを褒め、子どもたちの意欲を高めていけるようお願いいたします。

⑫
子どもは放課後や休みの日に外で進んで体を動かしている。(保護者)
進んで外で体を動かしている。(児童)
体力向上の取り組みを進めている。(教職員)



前期と比べると、保護者と児童の評価がわずかに下がり、教職員の評価が大きく上がっています。
前期は暑さの影響もあり、遊べない日が続きました。後期は過ごしやすい気候となり、校庭で元気に遊ぶ子どもたちが増えました。2月末に行われた大なわ大会に向けて、クラスで一致団結して大なわ練習をする姿も見られました。体育の授業や学級のみんな遊びを充実して体を動かす楽しさを実感できるようにしていきます。

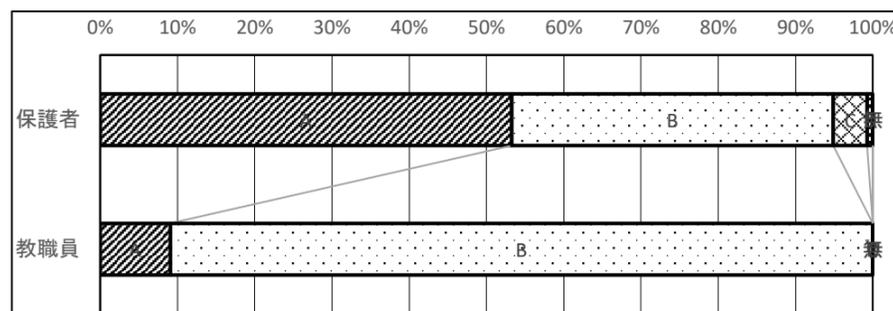
⑬
 子どもは好き嫌がなく食事を楽しんでいる。 (保護者)
 好ききらいなく楽しく食事をしている。 (児童)
 給食についての指導が計画的にされている。 (教職員)



前期と比べると、児童で「よくできている」の評価が12%が上がっています。一方で好き嫌いがある児童はわずかに減ったものの、依然として約18%います。

私たちが生きるためには食事が必要であり、特に赤・黄・緑の栄養バランスの取れた食事が健康維持に望ましいと考えられています。これからも子どもたちが食の大切さへの理解を深められるよう取り組んでいきます。

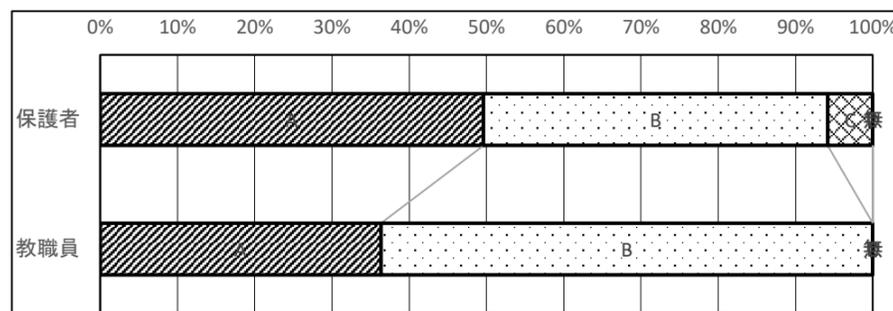
⑭
 教職員は保護者の話によく耳を傾けてくれる。 (保護者)
 子ども・保護者の思いや願いを受け止め、気軽に相談ができるようにしている。 (教職員)



保護者の肯定的な回答は94.9%と高くなっていますが、前期と比べると、下がっています。

学校では、保護者の方のお話をじっくりと聞かせていただき、子どもたちが安心して学校生活を送れるようにするとともに、ひとりひとりの成長を一緒に支えていきたいと考えております。今後も、気にかかることがございましたら、ぜひお気軽にご相談くださいますようお願いいたします。

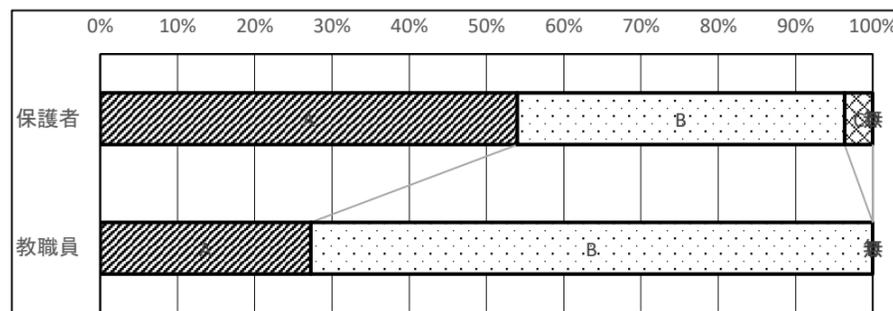
⑮
 学校はあたたかい思いやりのある心を育てる活動に取り組んでいる。 (保護者)
 子どもたちに思いやりのあるやさしい心が育ち、実践力が身に付いてきている。 (教職員)



保護者の肯定的な回答は94.2%で、前期と比べるとわずかに下がっています。

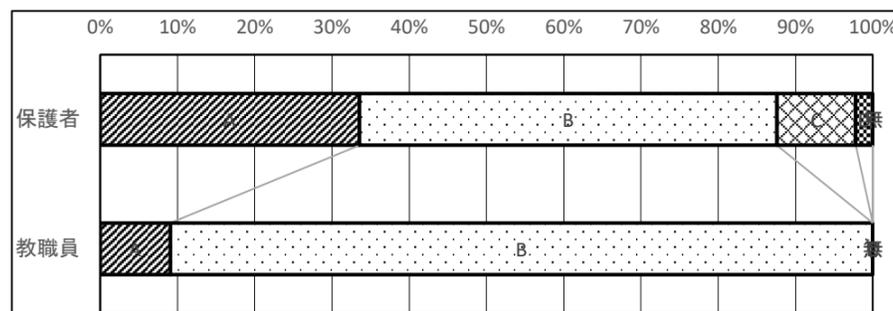
学校や学級が落ち着いた雰囲気であると、相手の気持ちを考えることができ、互いを思いやる優しい姿が見られるようになります。今後も、子どもひとりひとりの様子をよく観察して寄り添い、子どもたちが本来持っている思いやりある優しい心を引き出していけるよう取り組んでいきます。

⑯
 学校の取組が学校だより、学級だより、ホームページなどでよく分かる。 (保護者)
 学校情報の発信ができています。(学校・学級・保健・給食だより・ホームページ等) (教職員)



学校ホームページをご覧いただき、ありがとうございます。ホームページは、どの学年も毎週1回以上更新するようにし、行事や日常の授業の様子などを発信しています。今後も学校の様子を伝えさせていただきたいと考えています。お気づきの点はぜひお知らせください。

⑰
 学校行事や地域・PTA行事に参加するようにしている。 (保護者)
 様々な取り組みや行事を通して、学校・家庭・地域が連携し、子供の教育にあたっている。 (教職員)



前期と比べると、保護者の評価がわずかに上がっています。今年度も、地域やPTAの方にご協力いただき、子どもたちが楽しめるイベントを行っていただきました。また、お忙しい中、様々な学校行事や地域行事・PTA行事にご参加いただきありがとうございました。「地域の子どもは地域で育てる」ことを大切に、学校とPTA・地域が一体となって、子どもたちの健全育成に努めていきたいと考えています。